### 平成29年度学長戦略経費(重点分野研究プロジェクト)進捗状況報告

(平成30年3月)

報告者氏名・所属	酒井多加志・釧路校		
研究プロジェクトの 名称	防災の視点を持つ教員の養成・研修の在り方検討に向けた基礎的研究		
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に●を付すこと	●酒井多加志・釧路校・教授 佐々木貴子・札幌校・教授 内山隆・釧路校・教授 境智洋・釧路校・教授 渡辺理文・札幌校・講師 細野歩・附属釧路中学校・教諭		
研究プロジェクトの概要等			

わが国の教育課題の一つに、学校における防災教育や防災体制の充実がある。防災は災害に備え、災害時にはその被害の拡大をできる限り少なくし、復旧・復興に取り組むことである。これまで、北海道においては、積雪寒冷地という自然、気象条件を踏まえた防災教育教材の開発が進められ、充実が図られてきた。

しかし、防災の視点を持ち、教科を横断し、統合する防災教育の実践に取り組み、あわせて、学校の防災体制の充実を可能とする教員養成および教員研修は、未だ不十分であり、教員養成大学として取り組むべき課題といえる。また、平成27年12月の中教審答申では、教員改革として、養成・採用・研修を通じた不断の資質向上を求めており、教員養成段階から採用後の研修も見通した防災教育のあり方の検討も必要となっている。

本プロジェクトは、防災の視点を持つ教員の養成や教員研修の在り方を研究するために必要な、基礎的なデータの収集を行い、分析を実施するものである。そして、その過程において、カリキュラム開発、授業実践に向けたステークホルダーとの関係性構築に取り組むものである。その内容は以下の通りである。

- 1) 北海道教育大学内の防災教育リソースの調査と分析
- 2) 特色ある防災教育教材、防災教育手法に関する調査と分析
- 3) 他教員養成大学等における防災教育の事例の調査と分析
- 4) 学校現場における防災対策・避難所運営についての調査と分析
- 5) 北海道教育委員会等に対する教員養成,研修段階での防災教育に関する意識調査と分析

進捗度	3	←番号を記入	1.順調に進んでいる	2.ほぼ順調に進んでいる
			3.やや遅れ気味	4.遅れ気味

(進捗度が3若しくは4の場合、問題点等の理由を記入願います。)

主要プロジェクト担当者(佐々木、酒井)が附属中学校の校長を兼任しているため、調査日程を組むのが困難な状況にある。

#### 研究実績の概要

- ・平成30年1月に東京学芸大学附属小金井小学校において、防災教育事例に関してのヒアリング調査および意見交換を実施。
- ・平成30年1月に総務省消防庁において災害対策についての聞き取り調査を行うととも に本所防災館において防災体験ツアーに参加。
- ・平成30年1月に東京都江東区および千葉県浦安市において、関東大震災および東日本 大震災の教材開発に関する現地調査を実施。
- ・平成30年2月に福島県と宮城県において、東日本大震災を事例とした防災教育の教材開発に関する現地調査を実施。
- ・平成30年2月に荒川流域の水害ならびに石垣島の津波を事例とした防災教育の教材開発に関する現地調査を実施。
- ・平成30年3月に渡良瀬川流域の水害を事例とした防災教育の教材開発に関する現地調査 を実施。

# 今後の研究プロジェクトの推進計画

- ・現地調査の結果を教材化するとともに、論文としてまとめる。
- ・附属釧路小中学校において調査の成果をふまえた防災教育の授業を実施する。
- ・引き続き自然災害ならびに防災についての現地調査を実施する。
- ・引き続き本学ならびに他教員養成大学等における防災教育の事例の調査と分析を行う。
- ・受講生に対して授業効果の検証を行う。それをもとに新学習指導要領に則ったプログラムを作成する。

### 教育現場や地域で活用可能な成果等

東日本大震災の被災地ならびに首都圏、石垣島で行った現地調査は、本学の全学連携授業「子ども・地域と防災教育」および教員免許状更新講習、地域での防災セミナー等において活用できる。

#### 研究成果の公表実績

## 【著書】

・酒井多加志(2018), 『地図から読み解く自然災害と防災』, 近代消防社, 2018年5月(出版予定)

### 【学術論文】

- ・酒井多加志・内山隆(2017), 平成 28 年熊本地震における学校の避難所運営(1), 近代消防, 55-8, 78-82 頁.
- ・内山隆・酒井多加志(2017), 平成28年熊本地震における学校の避難所運営(2), 近代消防, 55-9, 56-60頁.

【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】 教員免許状更新講習、平成29年8月7日、釧路校、受講生数54人 平成29年8月9日、札幌校、受講生数40人

## 【テキスト、報告書、研修資料等】

添付資料	
ダウンロード可能な ドキュメント	
関連URL	
問い合わせ先	氏 名:酒井多加志 電 話:0154-44-3344 E-mail:sakai.takashi@k.hokkyodai.ac.jp